

事業名称	hello!「みらい」へ project
団体名・代表者	子育てサロン KonoKono 会長 牧野あゆみ
協働の相手方	姫路市 健康福祉局 保健所、こどもの未来健康支援センター「みらいえ」

目的	1 妊娠中から産後にかけての支援体制を強化し、「みらいえ」や産後ケアの存在や活用方法を広め利用を促進して、産後うつ予防や心身の健康を支えること。 2 妊婦家族や産後の家族が適切なタイミングで「みらいえ」や産後ケアを利用できるよう支援し、産後の生活が見通しやすくなる情報を提供すること。
内容	「みらいえ」を会場として、妊婦さんご夫婦を対象とした全3回コースの産前講座を1期と2期の2クール開催しました。「みらいえ」職員が施設と産後ケアの詳細と妊娠期からのプレコンセプションケアの説明をし、助産師、保育士、歯科医師、管理栄養士、理化学療法士という多様な専門職種が講師を務めました。また妊娠期のご夫婦と子育て期の親子との交流会イベントも開催し、情報交換の場を提供しました。
事業経過	11/15 I期第1回講座「家族で備えるお産」講師助産師「妊娠中にこそ知るべき歯のおはなし」講師歯科医師 11/29 I期第2回講座「ママと子を守る！栄養のおはなし」講師 管理栄養士「妊娠中・産後のからだケア新常識」講師 理学療法士 12/5 I期第3回講座「おなかの中から始める子育て」講師 保育士「つながる♪安心なみらいへ」産後ケアと「みらいえ」の詳細とプレコンセプション講座 講師 姫路市こどもの未来健康支援センター「みらいえ」スタッフ ※2期1回目(1/10)、2回目(1/31)、3回目(2/13)同じ内容にて開催
事業の効果	講座やイベントを通して「みらいえ」や産後ケアの周知をはかり、市民にそれらを身近に感じてもらうことができました。事業実施前には参加者の産後ケアの認知度 40%、「みらいえ」の認知度 10%でしたが、実施後には産後ケアの内容が分かり必要があれば利用したいが 100%、「みらいえ」の用途がわかり必要時利用したいが 100%となり事業の効果が実感できました。様々な角度から産前産後に役立つ知識を提供し、産後すぐに頼れる場所が確保できるような機会となりました。また妊娠期のご夫婦と子育て期の親子との交流会イベントでは情報交換の場を提供できました。これらをふまえて、産後うつ予防や心身の健康支援に効果的な事業となったと考えます
今後の展望	今回、「みらいえ」職員さんがプレコンセプションケアについて説明してくれ、参加者の皆様からもっと知りたい、必要な情報だという感想を多くいただきました。それも踏まえ来年度は、妊娠期からプレコンセプションケアについての情報を多様な職種から多様な角度で提供し、子育て期にその知識を活かせるような事業を実施します。そして、次世代の健康確保のみならず、家族全体のウェルネスに寄与し、こどもの権利を尊重した「こどもまんなかな子育て社会」の実現に貢献できる活動を目指したいと考えています。

【実施団体の事業総括・感想等】

「みらいえ」職員の皆様と協力して、「みらいえ」の活動や産後ケアについて地域の妊娠期のご夫婦に情報提供できたことで、産後の生活への安心感を一層高めることができ、大変有意義な事業になったと感じます。私たちの団体だけでは決してカバーしきれない部分をサポートしていただくことができ、大変ありがたかったです。また、「みらいえ」の活動を知ること、こども家庭庁、厚生労働省、国立成育医療研究センターが連携して推進している「プレコンセプションケア」について、妊娠期から伝える大切さという視点を得ることができました。ありがとうございました。

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

本事業を通して、妊娠期から夫婦で育児に関する知識や支援について学ぶ機会を提供できたことは、大変有意義であった。助産院をはじめとする多職種の皆様と連携することで、専門的かつ実践的な内容を届けることができ、参加された夫婦にとって、今後の育児への見通しや安心感につながったと考える。また、みらいえの施設や産後ケア事業についても直接説明の機会をいただき、産後の相談先や支援の具体的な利用イメージを得る機会になったと考える。今後も関係機関と連携しながら、切れ目のない支援体制の充実に互いに努めていきたい。